

完了後の評価個表

整理番号	森6-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	広島県
地区名	きたひろしまちよう 北広島町	事業実施主体	広島県、北広島町、太田川森林組合、安芸北森林組合
関係市町村	北広島町	管理主体	広島県、北広島町、太田川森林組合、安芸北森林組合
事業実施期間	H16~H20（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 北広島町は、広島県の北西部に位置し、中国山地の稜線が走り、1,000m級の山々が連なる。こうした稜線を有する北広島町の北西側の芸北エリアでは、集落や農地は標高700mの高原状の地形にあり、これらの高原状の地形の南には江の川沿いのまとまった平地が盆地状に広がり、なだらかな丘陵地も存在する多様な地形条件を有する。町の約8割が森林であり広島県有数の林業地帯である。</p> <p>② 森林の現況 当地区の森林面積は53,325ha、そのうち人工林が19,760haで37%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅧ齢級の森林が12,280haで約62%を占めている。また、地区内の森林のうち、水源かん養保安林が20,828ha、土砂流出防備保安林が868ha指定されており、約90%が水土保持林に区分されている。このため、森林の持つ水源涵養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに約19,760haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。 森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する国民の期待が高まっていたところである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 98ha、下刈 587ha、除間伐 3,971ha</p> <p>総事業費 1,016,821千円 (当初総事業費 322,996千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成26年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更に伴い、事業採択時に比べ総事業費が増加し、施業面積（便益発生対象区域）の増加により総便益が増加となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>46,431,087千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>28,701,745千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>3,569,289千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>5,139,157千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td>13.01</td> <td>（事業採択時</td> <td>5.58）</td> </tr> </table>	総便益（B）	46,431,087千円	（事業採択時	28,701,745千円）	総費用（C）	3,569,289千円	（事業採択時	5,139,157千円）	分析結果（B/C）	13.01	（事業採択時	5.58）
総便益（B）	46,431,087千円	（事業採択時	28,701,745千円）										
総費用（C）	3,569,289千円	（事業採択時	5,139,157千円）										
分析結果（B/C）	13.01	（事業採択時	5.58）										

② 事業効果の発現状況	<p>① 本事業で植栽されたヒノキの成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに多様な環境を持つ健全な針葉樹林として育成されており、近隣の広葉樹林の整備とともに、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p> <p>② 森林整備が継続的に行われていることにより、里山への関心も高く、芸北地区のNPO法人を中心に木質バイオマスの利用を促進することで、森林整備の対価として地域通貨を支払うことにより、地域活性化を目指している。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>植栽地のほとんどは将来の用材生産のため、下刈りから保育施業を地元森林組合及び林業に意欲のある森林所有者が継続的に行っている。</p>
---------------------	---

④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備が実施され林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上してきている。</p>
----------------	--

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業労働の軽減、森林施業コストの低減が図られ、間伐の実施面積が事業初年度と比べ、2%増加してきたことから、将来の木材供給源としての期待がより一層高まってきている。</p>
-------------	--

⑥ 今後の課題等	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 森林整備事業の実施によって土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(広島県)
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 必要性： 当事業は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与していることから、事業の必要性が認められる。・ 効率性： 森林整備は、現地に応じた樹種の植栽を実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め、総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。・ 有効性： 森林整備により、森林資源の利活用が向上してきていることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

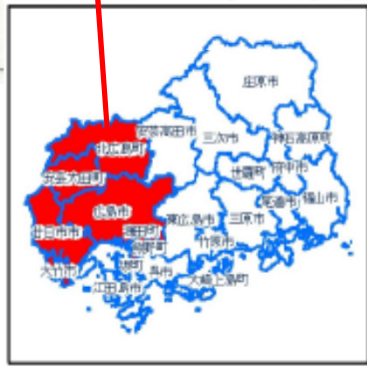
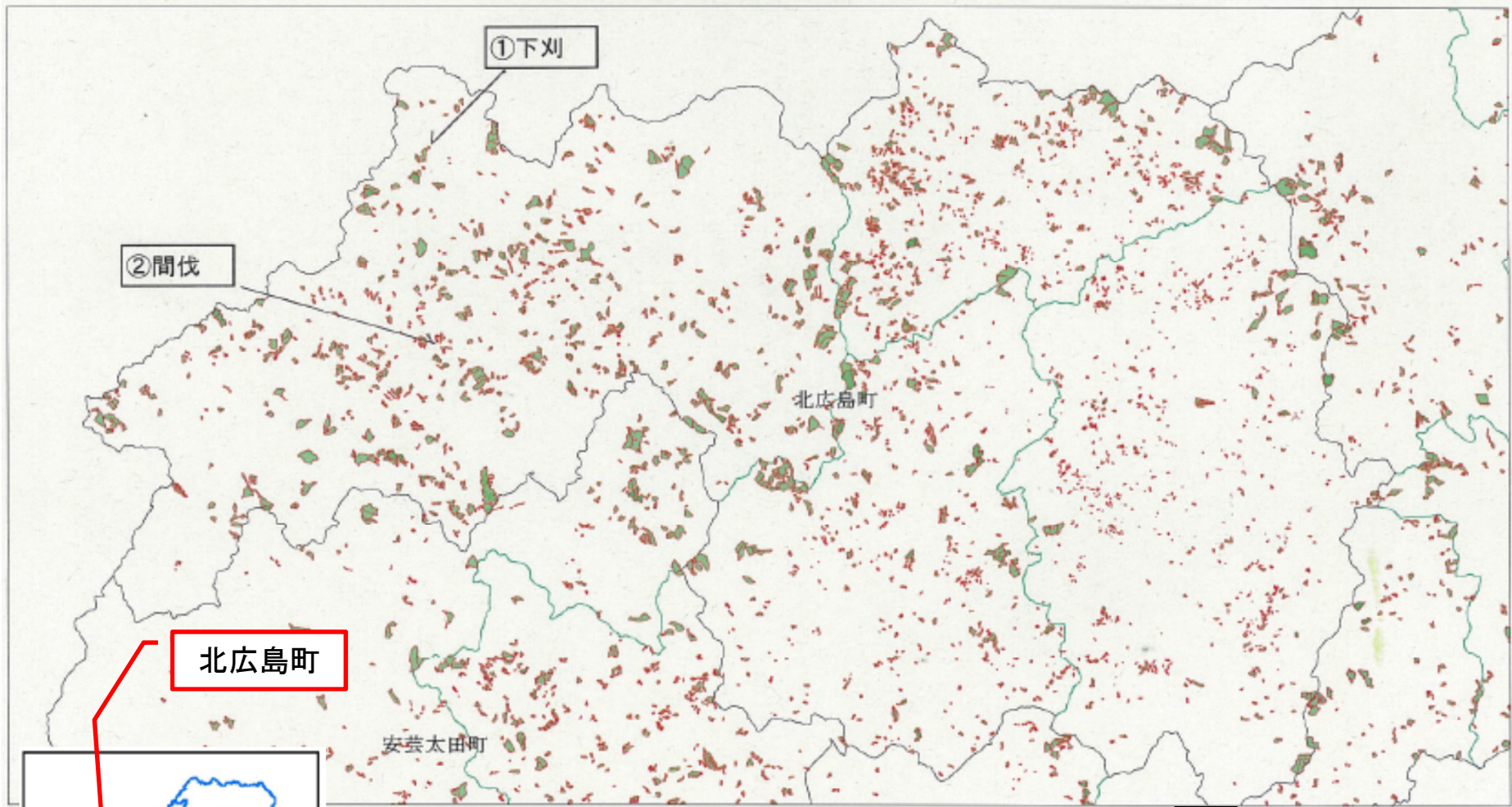
都道府県名: 広島県

地域(地区)名: 北広島町^{きたひろしまちょう}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	16,656,197	
	流域貯水便益	4,725,700	
	水質浄化便益	11,210,680	
山地保全便益	土砂流出防止便益	13,324,959	
	土砂崩壊防止便益	86,123	
環境保全便益	炭素固定便益	427,428	
総 便 益 (B)		46,431,087	
総 費 用 (C)		3,569,289	
費用便益比	$B \div C = \frac{46,431,087}{3,569,289} = 13.01$		

森林環境保全整備事業 北広島町地区 概要図【広島県】



凡 例	
—	市町村界
■	森林整備

